

両筑平野用水管理所・朝倉総合事業所寺内ダム管理所
渇水対策本部の設置について

本日6月3日(月)13時に「両筑平野用水管理所渇水対策本部」及び「朝倉総合事業所寺内ダム管理所渇水対策本部」を設置しました。今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。

＜渇水対策本部の設置理由＞

- ① 筑後川水系小石原川及び佐田川流域では、「平成30年7月豪雨」以降の降雨が例年を大きく下回っています。このため、農業用水に必要な水をダムから河川に継続的に補給した結果、ダムの貯水量は低い状態のまま推移しています。平成31年3月から4月にかけての降水量は平年値の約7割となっており、令和元年5月の降水量も平年値の約3割となっています。

【6月3日(月)午前0時現在】

	有効貯水量(貯水率)	うち農業用水分貯水量(貯水率)
江川ダム	9,253千m ³ (38.6%)	2,427千m ³ (22.7%)
寺内ダム	7,291千m ³ (81.0%)	3,723千m ³ (93.1%)
合計	16,544千m ³ (50.1%)	6,150千m ³ (41.9%)

- ② 今後もまとまった降雨がなければ、河川流況が改善されず田植えに必要な農業用水の確保が厳しくなるため、農業用水の利水者である両筑土地改良区は、本日6月3日(月)に、農業用水の確保及び節水対策のための「干ばつ対策特別委員会」を設置しました。

これを受けて、両筑平野用水管理所及び朝倉総合事業所寺内ダム管理所に渇水対策本部を設置しました。今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。

令和元年6月3日

独立行政法人水資源機構

両筑平野用水管理所

朝倉総合事業所寺内ダム管理所



配布先

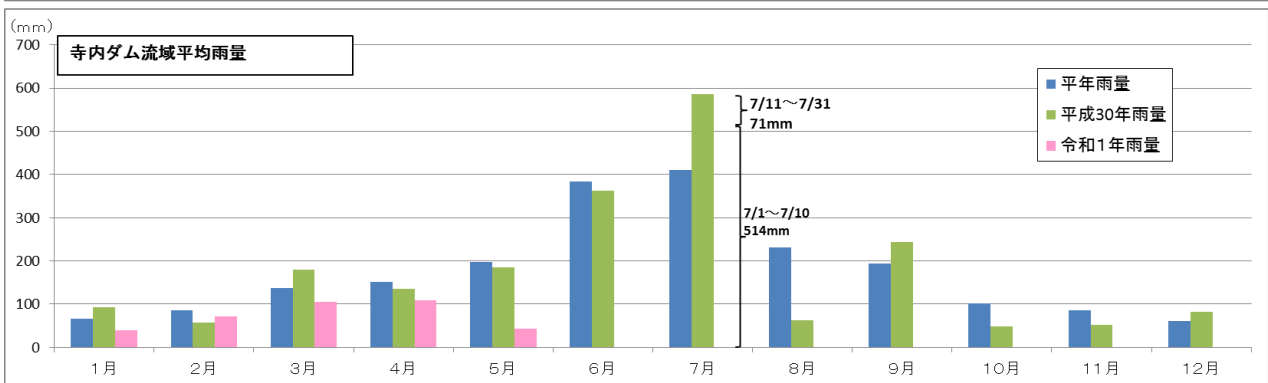
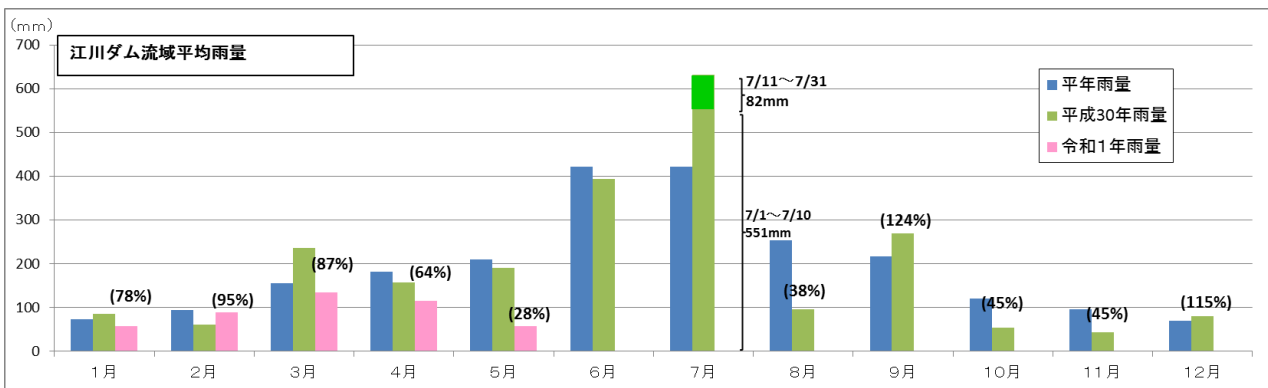
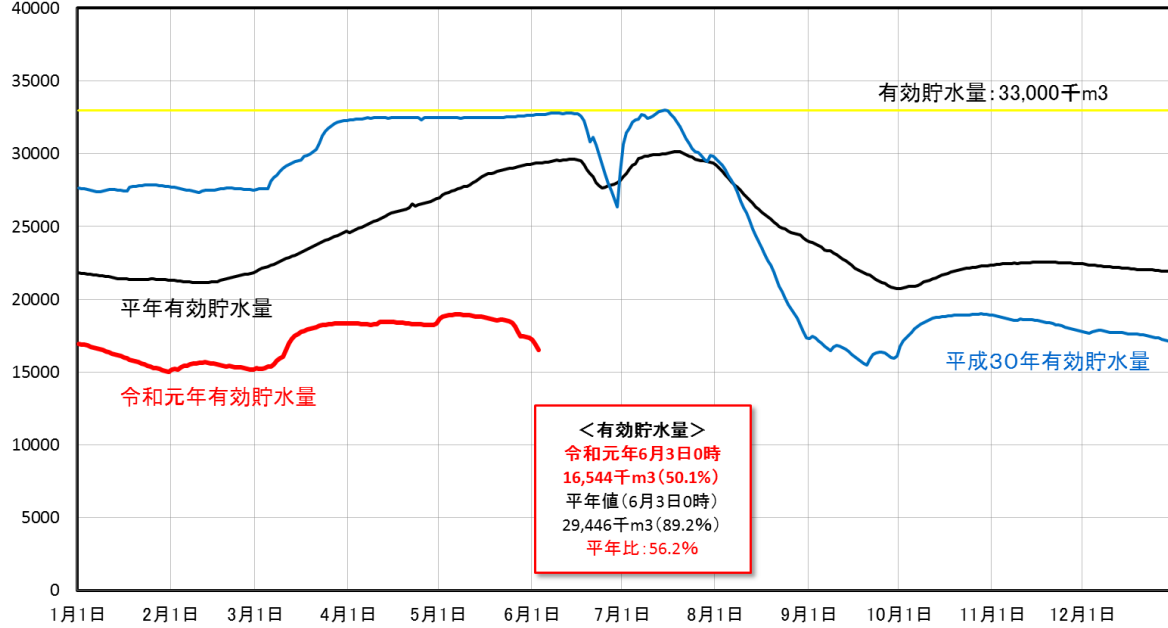
西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先

(江川ダムに関すること) 両筑平野用水管理所 所長代理(金子・津川)
住所: 福岡県朝倉市江川1660-67
電話: (0946) 25-0113
(寺内ダムに関すること) 朝倉総合事業所寺内ダム管理所 所長代理 松浦
住所: 福岡県朝倉市荷原1516-6
電話: (0946) 22-6713

貯水量
(千m³)
40000

江川・寺内ダム合計有効貯水量



- ※ 1 平年雨量は、江川ダムは昭和 50 年～平成 30 年の平均値、寺内ダムは昭和 53 年～平成 30 年の平均値である
- ※ 2 () 書きは令和元年(平成 31 年)雨量の平年比を示す
- ※ 3 令和元年の降雨量は、5月 31 日 24 時までのデータである

江川・寺内ダムの貯水池状況

<江川ダム>

平成 30 年 6 月 7 日 0 時時点

貯水量 23,792 千 m^3
貯水率 99.1 %
貯水位 224.69 m

令和元年 6 月 3 日 0 時時点

貯水量 9,253 千 m^3
貯水率 38.6 %
貯水位 203.06 m



<寺内ダム>

平成 30 年 6 月 15 日 0 時時点

貯水量 9,000 千 m^3
貯水率 100 %
貯水位 121.50 m

令和元年 6 月 3 日 0 時時点

貯水量 7,291 千 m^3
貯水率 81.0 %
貯水位 118.55 m



※) ホームページはこちらまで

<http://www.water.go.jp/chikugo/ryochiku/index.html>

<http://www.water.go.jp/chikugo/terauchi/index.html>